



実施状況（南相馬市・3日目）

ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業のワークショップが南相馬市で行われました。

平成27年8月18日（火）12:00～15:00

南相馬市・しらゆりコミュニティホール

〔ワークショップ〕

一般社団法人南会津生活産業創造教育機構の湯田芳博理事長と南会津町の生産農家の皆さんをお招きして、南会津町との交流事業などについて学びました。



まず、商店街の「やさいの森」で販売されている南会津産の野菜の説明を受けた後、南会津産の野菜を使った郷土料理（にんにくのほくほく味噌、トマトのめんつゆ漬、しそジュースなど15品）の試食を行いました。



南相馬市の農業は、原子力災害の影響で大変厳しい状況にあるため、「やさいの森」では、南会津や他県の農産物が販売されています。それでも、商店街には生鮮品を販売するお店がなく、「やさいの森」は、身近な場所で生鮮品を買うことができる貴重なお店となっています。

南会津の生産農家の皆さんは、そんな「やさいの森」を、そして栄町商店街を支えています。

今回は、これまで学んだ内容などをもとに、商店街に賑わいを取り戻す方法をみんなで考えます！

～ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業について～



Future From Fukushima.

この事業は、ふるさとの商店街に賑わいを取り戻すため、地域の子ども達が商店街について楽しみながら学び、考え、アイデアを実現することにより「商店街の活性化」と「子ども達のふるさとへの愛着心（まちづくりへの参画の第一歩）の醸成」を図るもので、平成27年度は会津若松市、南相馬市、本宮市の3地域で実施しています。ワークショップで子ども達が考えたアイデアを、子ども達が中心となって実現します。

※ 全国の皆様からいただいた寄付金を財源とする「福島県東日本大震災子ども支援基金」を活用しています。

商店街プロデュース事業

検索